

ウポポイ開業5周年記念式典



ウポポイの開業5周年記念式典が8月2日に行われ、関係者がアイヌ文化振興と施設の発展を祈りながら5年の節目を祝いました。

式典には162人が出席。初めに常本照樹アイヌ民族文化財団理事長が「アイヌ施策において、ウポポイが扇の要にふさわしい施設であるように、アイヌの方々にウポポイが心のよりどころと言っていただけのように、施設に来てくれたみなさんがアイヌ文化に触れることを通じて多様な文化を尊重し合いながら共生する社会の大切さを思っていただけのように全力を尽くす」とあいさつ。伊東良孝内閣府特命担当大臣（アイヌ施策担当）、鈴木直道知事、大川勝北海道アイヌ協会理事長が祝辞を述べました。

大塩英男町長も「今後も多くの方々がアイヌ文化に触れることができる取り組みを継続するとともに、近隣自治体、さらには道内自治体とも広域的に連携し、ウポポイの年間入場者数の目標達成に向けて取り組んでいきたい」とあいさつしました。最後は伝統芸能「イノミ」が披露されました。



式典で披露されたハンチカプリムセ



記念式典



あいさつする常本理事長



祝辞を述べる伊東大臣と大塩町長